

2024年5月8日
公益財団法人日本デザイン振興会
公益社団法人日本インテリアデザイナー協会

「人」と「暮らし」を「デザイン」でつなぐ国際イベント
「ワールドインテリアウィーク 2024 インジャパン」開催
5月25日に東京ミッドタウンにて World Interiors Day デザインシンポジウムを開催



公益財団法人日本デザイン振興会（以下、JDP）と公益社団法人日本インテリアデザイナー協会（以下、JID）は、5月24日（金）から5月31日（金）の期間、「ワールドインテリアウィーク 2024 インジャパン」を開催します。

JDP と JID が加盟するインテリアデザイン分野の国際的組織である IFI（国際インテリアアーキテクト/デザイナー団体連合）は、毎年5月の最終土曜日を「World Interiors Day」とし、全世界共通のテーマでインテリアデザインの役割について考える日として定めています。

IFI のメンバーである JID と JDP は、グローバルプラットフォームの一翼を担い、日本から「デザイン力」を発信します。その一環として、日本では2016年以来、この日を含んだ週を「ワールド・インテリアウィーク（WIW）」として、「人の暮らしをデザインでつなぐ」をミッションに多彩なイベントを開催してきました。各種イベントを通じ、参加者が生活環境を見つめ直し、暮らしやインテリアデザインにおける質の向上を図り、より良い環境をつくることを目的としています。

2024年は、IFI World Interiors Day 2024 世界共通テーマ “The Growing Generational Gap: Improved Multi-Generational Future.” 「拡大する世代間ギャップ:多世代が共存する未来」を掲げ、セミナー、

海外インテリアレポートなどを5月24日（金）から5月31日（金）まで全国各地で展開します。5月25日（土）には、東京ミッドタウン・デザインハブにて、「World Interiors Day デザイン・シンポジウム」を開催します。

2024年の世界共通テーマは、異なる年齢層間のコミュニケーションギャップという本質的な課題を指摘しています。世代間のコミュニケーションを克服するためのインクルーシブ・デザインのアプローチは、世代が協力的で豊かな方法で共存する未来への道を開きます。世代間の多様性を尊重し、過去・現在・未来の架け橋となるような環境を創造するのは、繊細で適応力のあるデザインとそれを理解する人なのではないでしょうか。デザイン・シンポジウムでは、インクルーシブ・デザインの考え方と多様なデザインの事例からこれからのデザインに重要なツールを学び、探究していきます。

「ワールドインテリアウィーク 2024 インジャパン」開催概要

■ イベント名

「World Interiors Week 2024 in JAPAN」(WIW)

実行委員長 喜多 俊之

公式ウェブサイト www.wiwjapan.org

■ 開催期間

2024年5月24日（金）から5月31日（金）まで

■ 開催内容

全国各地でのオンラインイベント、インテリアショップ・ショールームをつなぐネットワークイベント

■ 開催テーマ

“The Growing Generational Gap: Improved Multi-Generational Future.” 「拡大する世代間ギャップ:多世代が共存する未来」

■ 主催

公益社団法人日本インテリアデザイナー協会 (JID) www.jid.or.jp

公益財団法人日本デザイン振興会 (JDP) www.jidp.or.jp

※サポート:

国際インテリアアーキテクト/デザイナー団体連合 (IFI) www.ifeworld.org

The International Federation of Interior Architects/Designers (IFI)

■ メインイベント

World Interiors Day デザインシンポジウム「世代間の多様性 インクルーシブ・デザインのアプローチ」

開催日: 2024年5月25日（土） 15:00~17:30 シンポジウム、17:30~18:00 名刺交換会

会場: インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター

(東京ミッドタウンタワー5階 デザインハブ内)

基調講演:

水内 智英氏/デザイン研究者 京都工芸繊維大学 未来デザイン・工学機構 准教授

パネリスト講演：

アリソン 理恵氏/建築家 建築設計事務所 ARA 主宰

奈良 祐希氏/建築家、陶芸家 株式会社 EARTHEN 代表取締役

お申し込み：事前登録制

参加費：2,000 円（学生無料）

定員：60 名

※後日、アーカイブ動画を配信予定。

参考資料 1：登壇者プロフィール(敬称略)

水内 智英 (みずうち ともひで)



デザイン研究者 京都工芸繊維大学 未来デザイン・工学機構 准教授

武蔵野美術大学基礎デザイン学科で基礎デザイン学を、ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ大学院 MA Design Futures でメタデザインを学ぶ。京都工芸繊維大学で博士号を取得。英日のクリエイティブエージェンシー勤務、名古屋芸術大学准教授などを経て現職。デザインの在り方それ自体を問いなおすための研究に取り組み、とりわけソーシャルイノベーションや幅広い主体との協働デザインに関する研究活動、実践的プロジェクトを行う。NPO 法人 issue+design クリエイティブディレクター／理事、基礎デザイン学会理事。

アリソン 理恵 (ありそん りえ)



建築家建築設計事務所 ARA 主宰

1982 年宮崎県出身。東京工業大学大学院博士課程 単位取得退学。オーストラリア・日本の設計事務所勤務を経て 2015 年に一級建築士事務所 teco 開設、共同主宰。2020 年 4 月より豊島区東長崎にて MIAMIA、ara を開設。建築の設計活動と共に、コーヒーショップ MIAMIA、カルチュラル・キオスク

IAM を営み、町の営繕を行いながら日常風景を豊かにする試みを行う。地域と共にあるデザインや、プロジェクトに関わる人の共同を促す、開かれたデザインやしくみを考え、展開している。

奈良 祐希（なら ゆうき）



建築家、陶芸家 株式会社 EARTHEN 代表取締役

1989 年金沢市生まれ。茶陶の名窯 大樋焼次期十二代目当主。2013 年東京藝術大学美術学部建築科卒業、2016 年多治見市陶磁器意匠研究所修了。2017 年東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻首席卒業。2021 年より EARTHEN 主宰。陶芸分野では、代表作<Bone Flower>が金沢 21 世紀美術館等に永久収蔵されている。建築分野では、デビュー作<Node Kanazawa>で AACAA 賞芦原義信新人賞、日本建築設計学会賞、いしかわ景観賞、金沢都市美文化賞等を受賞。

参考資料 2：ワールドインテリアウィークについて

「ワールドインテリアウィーク（WIW）」は、国際インテリアアーキテクト/デザイナー団体連合（IFI）が主導して、創造性に富んだ社会の構築とインテリアデザインの向上、住宅関連企業などを中心とする産業全体にその効果を反映させて発展に寄与することを主な目的に、毎年開催されています。IFI の構成メンバーである日本インテリアデザイナー協会（JID）と日本デザイン振興会（JDP）は、そのグローバルプラットフォームの一翼を担い、日本から「ワールドインテリアウィーク 2024 インジャパン」としてデザイン力を発信します。

一般からのお問い合わせ：公益社団法人日本インテリアデザイナー協会

Tel：03-5322-6560 E-mail：head@jid.or.jp
